

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	各種検診事業	コード	02-02-02-02
		担当課・係	保健課健康係
		担当者	横山 和代
		電話	0869-64-1820
事業実施期間	昭和46年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目(施策)	成人保健 各種成人健康診査	

事業について	
目的 (何のために)	生活習慣病・がんの早期発見と予防
対象 (誰・何を対象に)	40歳以上(子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は30歳以上)の市民
内容	各種がん検診の実施(肺がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診)

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
肺がん検診	6,662人	6,273人	前立腺がん検診
子宮がん検診	受診者数 1,999人	受診者数 1,778人	1,047人
乳がん検診	2,796人	2,486人	
胃がん検診	3,319人	2,554人	
大腸がん検診	3,533人	3,310人	
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 34,639	間接補助金等	直接事業費 30,192
	人件費 12,592	委託費負担 4,976	人件費 10,495
	合計 47,231	市債 42,255	合計 40,687
必要人員	2.07人	1.90人	

結果指標	結果指標名	各種がん検診受診者数	各種がん検診受診率	
	結果指標量	19,733	17,448	
	単位	人	人	
	対前年比	-	88.42%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	47,231,000円	40,687,000円	
	単位当たりコスト	2,394円	2,332円	
	結果指標名	精密検診対象者数	精密検診対象者数	
	結果指標量	985	878	
結果指標	単位	人	人	
	対前年比	-	89.14%	0.00%
	活動にかかるコスト	47,231,000円	40,687,000円	
	単位当たりコスト	47,950円	46,340円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	検診受診率の向上により、疾病の早期発見・早期治療を目指す。		
成果指標名	各種検診平均受診率	式又は説明	全検診受診者延数/全検診対象者延数
	17年度	18年度	
成果指標量	38.3%	32.86%	
対前年比	-	85.80%	0.00%
到達目標値	40.0%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
妥当性評価		妥当性評価<A~E> A 課題認識
効率性評価		効率性評価<A~E> B 課題認識 大腸がん、前立腺がん、乳がんの受診率は目標値30%を達成しており、肺がん、大腸がんなどは目標値に近いが、子宮がんは目標値より10%近く低い受診率である。 委託機関の選定についてはH18年度までは随意契約であったが、H19年度からは入札としコスト削減を図った。
有効性評価		有効性評価<A~E> B 課題認識 がん検診全体でがん罹患者19人、がん疑い9人が発見されている。検診を受けることにより疾病を早期発見・治療ができたという意味では受診者に有効である。また受診率が低下したため、さらなるPRが必要である。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 平成19年4月から施行されるがん対策基本法でも「がんの予防及び早期発見の推進」が重視されており、当市でもがんによる死亡が死亡原因の第一位を占めていることから、今後がん対策は推進していく必要がある。
-----------	---	---	--

目標値	結果指標量	検診受診率	結果指標量	精検受診率90%以上
	結果指標量	は35%	は95%以上	

総合評価	合併に伴って備前・日生・吉永の全地区で受診可能となり、受診票・検診日程も一冊のガイドにまとめる方法に切り替えた。しかし各検診前に受診票を配布していた方法に慣れていたため、検診日程を忘れる市民も多く、全体として受診率が下がる結果となった。また精検平均受診率は87%であり、早期治療につなげるためにも改善していく必要がある。	評価区分<A~E> B
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	褒賞委員や広報、HPなどによる受診動員、電話や訪問による精検受診動員	随時	検診受診率及び精検受診率の向上
効率性	備前・日生・吉永で日程を調節し、検診を受けやすい機会を増やす。		検診によるがん発見は早期がんが9割であるため、医療費も進行がんの2~5分の1に抑制できる。